

日本比較経営学会 第42回全国大会 プログラム

5月12日(金)

| | |
|-------------|---|
| 16:00~17:00 | 学会誌編集委員会 (2号館・B1:会議室 1) プログラム委員会 (2号館・B1:会議室 2) 会計監査 (2号館・B1:会議室 3) |
| 17:00~ | 理事会 (2号館・B1:会議室 1) |

5月13日(土)

| | | |
|-------------|---|---|
| 9:30~ | 受付 (18号館・2Fロビー) | |
| 9:50~10:00 | 開会式 (18号館・2F・1824 教室) | |
| 10:00~11:50 | 自由論題セッション (18号館・2F・1825 教室) | 自由論題セッション (18号館・2F・1826 教室) |
| | 第1報告 司会・コメンテーター: 中道 眞 (別府大学) 報告者: 新井利英 (中央大学・院) 「三菱重工におけるガスタービン技術形成過程の研究」 | 第1報告 司会・コメンテーター: 木野龍太郎 (福井県立大学) 報告者: 小山洋司 (新潟大学・名) 「スロヴェニアの溪谷から国際的に事業展開する企業 コレクトール社の歩み」 |
| | 第2報告 司会・コメンテーター: 中屋信彦 (名古屋大学) 報告者: 全 洪霞 (日本大学・院) 「華為の新しい従業員持ち株制度と帰属意識の関係 をめぐり一考察」 | 第2報告 司会・コメンテーター: 岩波文孝 (駒澤大学) 報告者: 鳥羽達郎 (富山大学) 「アパレル小売企業の商品調達と共通価値の創造」 |
| 11:50~13:00 | お昼休み・理事会 (2号館・B1・会議室 1) | |
| 13:00~14:30 | ワークショップ① (18号館・2F・1825 教室) | ワークショップ② (18号館・2F・1826 教室) |
| | テーマ: 新しい「市民社会」を展望する コーディネーター: 明石英人 (駒澤大学) 報告者: 1) 明石英人 (駒澤大学) 「市場の偶然性と中間団体の役割 —ヘーゲルの市民社会論を参考に—」 2) 青木雅生 (三重大学) 「市民社会と自発性・共同性、そして相互自助 —協同組合論の講義を踏まえての検討—」 3) 馬頭忠治 (鹿児島国際大学) 「戦後レジームと社会的経済の可能性 —市民アソシエーションの歴史的位相をめぐって—」 | テーマ: 中国のビジネスモデル・イノベーション コーディネーター: 高久保 豊 (日本大学) 報告者: 1) 長山宗広 (駒澤大学) 「メーカーズ革命時代における製造業の日本的創業 モデル」 2) 王 穎琳 (駒澤大学) 「中国にあるメーカーズスペースとスタートアップ企業」 3) 高久保 豊 (日本大学) 「『大衆創業・万衆創新』構想とビジネスモデル転換」 |

※会員控室は、18号館・2F・1821 教室 です。

| | シンポジウム① (18号館・2F・1824 教室) | シンポジウム② (18号館・2F・1826 教室) |
|-------------|---|--|
| 14:40~16:10 | <p>テーマ：若者の貧困化と大学の社会的責任 ：「学生職員」採用に関する東西比較</p> <p>司会：山縣正幸（近畿大学） コーディネーター：藤野真（福岡大学） 報告者：</p> <p>1) 横山 真（福岡大学）・植上一希（福岡大学） 「若者の貧困と大学進学問題～新聞奨学生を題材に」 2) 藤野 真（福岡大学） 「福岡大学における学生支援ワークスタディ事業 について」 3) 菊池宏之（東洋大学） 「東洋大学における『独立自活』支援推薦入試 について」</p> | <p>テーマ：都市部と地方における経済格差の真の姿と アベノミクス</p> <p>司会：上田 慧（同志社大学） コーディネーター：齋藤 敦（徳島文理大学） 報告者：</p> <p>1) 明石康徳（光陽メディア代表取締役社長） 「今日の都市部企業の経営環境とその状況」 2) 濱田行雄（徳島県経営者協会専務理事） 「今日の地方企業の経営環境とその環境」 3) 伊藤圭一 （全国労働組合総連合雇用・労働法制局長） 「今日の都市部労働者の労働環境」 4) 森口英昭（徳島県労働組合総連合事務局長） 「今日の地方労働者の労働環境」</p> |
| 16:20~18:20 | 会員総会 (18号館・2F・1824 教室) | |
| 18:30~ | 懇親会 (図書館・1F・陽だまり) | |

5月14日(日)

| | |
|-------------|---|
| 9:00~ | 受付 (2号館・1階ロビー) |
| 9:30~9:40 | <p>統一論題報告 (2号館・2F・221 教室)</p> <p>3年間の統一論題テーマならびに第42回大会統一論題趣旨説明 (2号館・2F・221 教室) 「市場経済と市民社会の共生を求めて―市民社会と企業社会の自存と共存―」 プログラム委員長 村上了太 (沖縄国際大学)</p> |
| 9:40~12:00 | <p>司会：小阪隆秀 (日本大学)、村上了太 (沖縄国際大学)</p> <p>第1報告「日本たばこのロシア市場参入：ロシアの経済体制移行と市民社会」 報告者：杉浦史和 (帝京大学) 討論者：林 裕明 (立命館大学) (10分休憩)</p> <p>第2報告「市民社会と社会的企業」 報告者：鈴木由紀子 (日本大学) 討論者：所 伸之 (日本大学) (10分休憩)</p> <p>第3報告「EU市場統合・通貨統合と市民社会の関係性」 報告者：田中 宏 (立命館大学) 討論者：蓮見 雄 (立教大学)</p> |
| 12:00~13:00 | お昼休み・理事会 (2号館・B1・会議室1) |
| 13:00~15:30 | コメントとリプライならびにフロアを交えての質疑応答 |
| 15:30~15:40 | 閉会式 (2号館・2F・221 教室) |

<大会参加費・懇親会費のご案内>

- 大会参加費 5,000 円 (正会員)
- 3,000 円 (院生会員)
- 懇親会費 5,000 円
- お弁当 (5/13・5/14) 各 1,000 円

<大会会場へのアクセスマップ>



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なる場合がありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。